

第2特集

メリットと課題とは？

社会福祉 連携推進法人の 現在地

今年4月から「社会福祉連携推進法人」制度が始まった。

同じ目的意識をもつ法人が連携し、複雑化・多様化する福祉ニーズに対応して

地域を支えていくことをめざす制度だが、異なるスキームで法人間の連携を図るケースも見られる。

事業者はこの制度をどう捉え、どのように活用しようとしているのか。同制度をめぐる動向を探ってみた。

取材・文／下境敏弘

CONTENTS

○ INTERVIEW

～社会福祉連携推進法人がめざすもの

宮下雅行（厚生労働省社会・援護局福祉基盤課課長）

○ 事例 1

社会福祉連携推進法人リガーレ（京都府京都市ほか）

○ 事例 2

山形県

○ 事例 3

社会福祉法人黒部市社会福祉協議会（富山県黒部市）

○ 事例 4

一般社団法人福智町社会福祉連携協議会（福岡県福智町）